

---

---

## 2 高大連携に関する取り組みについて

---

---

大学全入時代の到来により、大学教育の質保証やアドミッションポリシーの具体的な明示が求められる中、高校と大学との連携により、教育内容や方法等を含めた学びの接続を図っていくことが重要になってきている。

また、特に関西では、特定の中学校・高等学校との連携等を進め、付属校や提携校を拡充する大学が増加している。

本学においても建学の精神を同じくする平安中学校・高等学校を龍谷大学の付属校とし、2008年4月から龍谷大学付属平安中学校・高等学校に校名を改称した。

さらに本学では、一般の高等学校を対象に、①連携範囲の拡大、②連携関係の双方向化、③連携内容の深化の3つの方向性を軸に、高校と大学の連携による「学びの接続」を通じて、有為な人物の育成に取り組むため、高大連携事業に取り組んだ。

### 1) 龍谷大学付属平安中学校・平安高等学校の教育展開

#### ◆龍谷大学付属平安高等学校 附属記念シンポジウムの実施

平安中学校・高等学校が、本学の付属校となることを記念し、また高大連携の新たな取り組みを社会に提言するため、6月7日に附属記念シンポジウム「子どもの基礎学力と人間教育」をテーマに開催し、約500名の聴衆の参加があった。シンポジウムでは、前東京都杉並区立和田中学校長の藤原和博氏が「基礎学力と社会」をテーマに基調講演を行った。続いて、パネルディスカッションでは、現在の中等教育が抱える課題を明らかにしつつ、中高大の一貫教育を通じ、子ども達をどのように育成し、社会で活躍できる人間を育てていくか等の意見交換を行った。

#### ◆教科ワーキンググループの活動

龍谷大学と龍谷大学付属平安高等学校の教員による国語・社会・理科・数学・外国語の5教科について教科ワーキンググループを組織し、過去5年間の同校プログレスコース(龍谷大学連携コース)のカリキュラムの全体的総括を行うとともに、付属校第1期生の現状把握と今後の方向性について、カリキュラム検討ワーキンググループ全体会において協議した。

#### ◆高大連携科目への協力

龍谷大学付属平安高等学校の特色ある教育展開に協力するため、高大連携科目の実現を目指し、「現代を学ぶ」と「理数研究」の2科目について、大学の教員によるデモ授業を実施し、課題の検証等を行った。これにより、「現代を学ぶ」及び「理数研究」を高大連携科目と位置づけ、2011年度開設にむけて協力することを決定した。

### 2) 教育連携校・関係校との教育連携

#### ◆新たな教育連携校の拡充

地域戦略上、重要と考えられる近畿圏の新たな拠点として、2008年度から、本学の教育連携校となった神戸龍谷高等学校とは、同校の進路学習支援を目的とした教育連携事業として、学問分野説明ガイダンスや大学見学の受け入れ等を行った。また、さらに関係校である相愛高等学校(大阪府)とは、2009年度に包括協定を締結し、教育連携校として位置づけることとなった。

#### ◆北陸高等学校、崇徳高等学校との教育連携事業

北陸高等学校、崇徳高等学校の教育連携校とは、高大の系統的な教育を実現するために教育連携協

議会において教育連携事業のプログラム化を図り、出張模擬講義や事前学習プログラム(入学前学習)を実施した。

#### ◆教育連携校入学前オリエンテーションの実施

教育連携校推薦入学試験合格者を対象に、12月に本学の各キャンパスへ集合し、各学部別に事前学習プログラム(入学前学習)の意義を合格者に理解してもらい、大学進学に対するモチベーションや学びの意欲・関心を喚起するために、入学前オリエンテーションを実施した。

### 3) 一般高校との教育連携

#### ◆高大連携協定校との高大連携事業

2008年に高大連携に関する包括協定を締結した京都府、滋賀県、大阪府、奈良県の高等学校14校とは、高校・大学間協議により、出張模擬講義、大学見学の受け入れ、大学講義の聴講等、様々な双方向型の高大連携事業に取り組むとともに、進路選択に役立つ高大連携プログラムとして、協定校の生徒を対象に、全ての学部から模擬講義を提供した「龍谷大学デー」を実施した。また、本学との関係強化が求められる京都府南部、大阪府の指定校13校と新たに、高大連携に関する包括協定を2009年度に締結することとなった。

#### ◆教員交流・研修の実施

高大連携の新たな取り組みとして、協定締結校の教員を対象とした研修会へ講師を派遣するとともに、協定締結校の教員と本学の教員による交流会を実施し、高等学校と大学の現状や課題等について意見交換し、現状把握に努めた。

### 4) その他の連携事業

#### ◆「滋賀県立高等学校生徒を対象とする大学連続講座」への協力

地域貢献を目的とする事業の一環として、滋賀県教育委員会との協定に基づき、「滋賀県立高等学校生徒を対象とする大学連続講座」として理工学部から講座を提供した。

#### ◆進路ガイダンス用冊子の作成

高等学校の進路学習支援の一環として、高校生が将来の職業を見据えて大学の学部・学科選択ができるように、また職業と学部・学科の関係、そのための入試制度を紹介する本学独自の進路ガイダンス用冊子(「逆引き! 学び発見BOOK」)を作成した。

#### ◆リーフレット、及びホームページの作成

本学がこれまでに取り組んできた高大連携の取り組みや、高大連携の基本方針等を紹介したリーフレットを作成し、高等学校に配布するとともに、ホームページ上でもその取組みを紹介した。